



一般廃棄物最終処分場について 避難所のペット対応について

川村 幸人 議員



一般廃棄物最終処分場

質問 最終処分場の埋め立てが完了した後の総面積や、その具体的な規模についてお伺いします。

答 面積は1万1370㎡で、城沼総合運動場の多目的広場とほぼ同程度の規模になります。

て完了後における跡地の利活用についてお伺いします。

答 埋め立て完了後は地元開放することになっており、利活用については、今後、地元住民の皆様の意見を伺いながら具体化していきたいと考えています。

質問 最終処分場の埋め立て成金を活用し、最終処分場跡地を多目的広場として整備する考えがあるのか、お伺いします。

答 スポーツ施設の整備を行うことになった際には、当該助成金の活用を検討していきたいと考えています。

要望 地元の意見が最も大切であるが、助成金を活用するなど早期に多目的広場として整備していただくよう要望いたします。

質問 今回の台風において、避難所へペットと一緒に避難された方々への対応についてお伺いします。

答 ペットは家族の一員という意識の方が多く、避難所におけるペットとの共生は、市としても考えていかななくてはならない課題だと思います。



財政運営の状況について 総合戦略について

吉野 高史 議員



質問 行政運営を行う上で最も重要な項目に財政があります。この件については「入ってくるお金」、「出ていくお金」の管理をしっかりと行っていかない限り、市民の皆さんから「ずさんな行・財政運営」と批判を受けることとなります。収入未済額と不納欠損額に関する各部の状況についてお伺いします。

答 収入未済額と不納欠損額の順に一百万円単位で見ますと、全体では6億9889万円と8928万円となり、特に多いのは国民健康保険特別会計で4億6461万円と6779万円です。各部の一般会計では、保健福祉

部の8857万円と418万円が多額となっています。

質問 膨大な税金未納額を今後どのように減らしていくのか、お伺いします。

答 広報紙や市ホームページで周知を図るとともに、督促状や催告書による文書催告や電話による催告を行っています。特に出納閉鎖前の日曜日には自宅へ訪問し、徴収に努めています。

質問 推計値ですが、生まれる子どもは約600人、亡くなる人は800人で、難された方々への対応についてお伺いします。

答 建物の玄関ロビーや軒下においてリードにつながるいだり、ケージに入れるなどの対応をお願いしました。

質問 今後の避難所におけるペットの受け入れ対応として、特に人とペットの共生についてお伺いします。

答 ペットは家族の一員という意識の方が多く、避難所におけるペットとの共生は、市としても考えていかななくてはならない課題だと思います。

要望 ペットは家族の一員です。ペットの命や、その避難を考えることは、多くの市民の尊い命を考えることにつながります。災害時における人とペットとの共生を目指して、今後の受け入れ態勢の充実を強く要望いたします。

質問 結婚希望者に対する婚活支援。妊娠・出産希望者には不妊・不育治療支援のほか、産科・小児科の医師確保。子育てでは児童手当・医療費の助成など様々な支援に努めています。

質問 市長は、まち・ひと・しごと創生ビジョン・総合戦略をどのように評価しているのか、お伺いします。

答 全38指針中24指針が達成され、その割合は63.2%です。依然として困難な施策が多くあり、少しでも達成率を高めたいと考えています。

質問 市長の実績を問われる頃になりました。これらのビジョンを伺います。

答 首都通勤圏館林市のPR、就職氷河期世代の就労支援、婚活事業の支援、地域全体で子育てをサポートできるまちづくりに取り組むたいと考えています。